

科目名	音楽 a						
	【卒業必修】【保育士必修】【幼稚園教諭二種必修】						
授業形態	演習	学年	1年	開講時期	前期	単位数	1単位
担当教員	河原田 潤						

内容および計画	保育者として必要とされる基礎的・基本的な音楽的知識と技術を、楽譜を読み取る力（ソルフェージュ力）を養いながら楽典を通して学ぶ。その方法として楽典の専門書に沿いながら授業を進めていくが、あくまで保育者に求められる実践力に対応できるための平易な楽典の学修することを目的とする。そして得た知識と技術を用いて自ら弾き歌いをするために応用できるようにする事で、保育者として保育現場の環境を明るく豊かにし、子どもの小学校以降の生活や学習の基盤の育成につながるようにする。
1	幼児にとって音楽とは何か、幼稚園・保育園における幼児音楽の実践について
2	楽譜について（五線について）
3	楽譜について（楽譜を書く練習）
4	音名と記号（音名と変化記号）
5	音符と休符（音符と休符の書き方）
6	音符と休符（音符と休符の長さ）
7	リズムと拍子（リズムと拍）
8	リズムと拍子（リズム課題）
9	音楽用語について
10	音程・音階・調（音程の理解）
11	音程・音階・調（音階と調の理解）
12	和音とコードネーム（和音の理解）
13	和音とコードネーム（コードネームの理解）
14	移調について
15	まとめ

教科書	タイトル	『音楽理論ワークブック』		
	著者名		出版社	ドレミ楽譜出版社
	ISBN	978-428511419	発行年	

参考書	<ul style="list-style-type: none"> ・配布レジュメ ・『幼稚園教育要領<平成20年告示>』文部科学省 ・『保育所保育指針<平成20年告示>』厚生労働省 ・『幼稚園教育要領解説』文部科学省 ・『保育所保育指針解説書』厚生労働省 ・その他適宜紹介する
-----	--

成績評価	評価方法		割合
	筆記試験		60%
	実技試験		40%

学習到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 幼児にとっての音楽とは何か、与える影響について理解するとともに、保育者として必要とされる基礎的な音楽理論を理解出来るようにする。 2. 楽譜を読み取り、弾き歌いが出来るよう応用力を身に付ける。 3. 季節の歌、日常の歌、手遊び・歌遊び等を通じて歌に親しみ、その簡単な伴奏付けの方法を理解し、子どもが生き生きと音楽を楽しむ指導法を理解する。
--------	--

先修条件	
------	--

その他	
-----	--